

様式 Z - 7

平成26年度科学研究費助成事業 実績報告書（研究実績報告書）

1. 機関番号

3	2	6	0	4
---	---	---	---	---

 2. 研究機関名 大妻女子大学
3. 研究種目名 基盤研究(B) 4. 研究期間 平成25年度～平成27年度
5. 課題番号

2	5	2	8	4	1	3	5
---	---	---	---	---	---	---	---
6. 研究課題名 戦時上海におけるメディア（新聞・雑誌）の総合的研究

7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
5 0 3 1 6 9 0 7	イシカワ テルコ	比較文化学部	教授
	石川 照子		

8. 研究分担者

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名
0 0 2 9 8 0 4 3	スズキ マサヒサ	一橋大学・大学院言語社会研究科	教授
	鈴木 将久		
1 0 3 0 4 5 6 0	コハマ マサコ	日本大学・文理学部	教授
	小浜 正子		
1 0 3 6 4 9 0 2	イワマ カズヒロ	千葉商科大学・商経学部	教授
	岩間 一弘		
3 0 3 7 5 3 1 5	シヨウ ゲイケン	徳島大学・大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部（総科）	教授
	邵 迎建		
6 0 2 2 3 9 2 1	オオハシ タケヒコ	関西学院大学・文学部	教授
	大橋 毅彦		

9. 研究実績の概要

1. 関連史料の所蔵状況に関する調査及び収集・・・研究代表者と分担者それぞれの個別の史料調査以外に、戦時上海の文化・文学活動を研究している、関西の中日文化協会研究会との合同史料調査を、本年も行った（2014年9月上旬。長春・ハルビン・満洲里・大連）。その結果、史料の所蔵状況を具体的に把握することができた。
2. 研究会・ワークショップの開催・共催・・・2014年6月14日、10月11日、また、8月9日には東京で、ワークショップ「占領地・植民地における〈グレーゾーン〉を考える 国際比較の視点から」を主催し、2015年1月11日には中日文化協会研究会主催のワークショップ「戦時上海の文学空間を考える - 中日文化協会 を起点として-」に参加した。
3. ホームページの構築・運営・・・国内外で調査・収集した史料をホームページに掲載することをめざして、ホームページの構築作業を終え、現在はその運営を開始している。

10. キーワード

- (1) 上海 (2) メディア (3) 日中戦争 (4) _____
 (5) _____ (6) _____ (7) _____ (8) _____

(注)・印刷に当たっては、A4判（縦長）・両面印刷すること。

(1 / 8)